

和泉大学 2026 年度入学試験

数学 出題の意図

基礎能力試験 前期

1

二次関数・二次方程式における判別式や解とグラフの関係、因数分解などを通して、基本的な計算力と関数理解を確認することを意図している。

2

第1問 確率と整数の性質に関する基礎的な理解を確認することを意図している。

第2問 整数の性質と合同式の基本的な計算力を確認することを意図している。

3

三角比や三角形の性質、面積や内接円に関する知識を用いて、図形の理解と計算力を確認することを意図している。

4

データの分析において、平均・分散・相関係数の理解と、データの関係性を読み取る力を確認することを意図している。

基礎能力試験 中期

1

因数分解や対称式の計算、二次関数の最大・最小、グラフと図形の関係、無理数の処理などを通して、代数的計算力と関数的な見方、数の性質の理解を総合的に確認することを意図している。

2

第1問 誤判定率と事前確率の知識を用いて条件付き確率を求め、事象の起こりやすさを適切に判断する力を確認することを意図している。

第2問 不定方程式の性質や整数の扱いに関する知識を用いて、一般解を導き整数解の構造を理解する力を確認することを意図している。

3

正弦定理や余弦定理、三角形の性質に関する知識を用いて、式を辺や外接円の半径で表し直して整理し、条件から三角形の種類を論理的に判断する力を確認することを意図している。

4

代表値や四分位偏差の計算および相関係数の読み取りに関する知識を用いて、データの分布の特徴や変量間関係を多面的に捉え、その変化を適切に判断する力を確認することを意図している。

一般選抜 前期 A

1

2次関数の頂点の求め方やグラフの性質を用いて直線の式を導き、さらに絶対値を含む関数の最大値・最小値を考察することで、関数の理解と計算力を確認することを意図している。

2

第1問 場合の数の考え方をを用いて条件に応じた整数の個数や順序を求める力を確認することを意図している。

第2問 確率の基本的な計算および条件付き確率の考え方をを用いて、事象の起こりやすさを適切に判断する力を確認することを意図している。

3

二等辺三角形の性質や三角比の基本関係を用いて角度や辺の長さを求め、三角比の値を相互に関連付けて処理する力を確認することを意図している。

4

平均値や分散、相関係数の定義に基づく計算方法を用いて欠損データを復元し、データの散らばりや変量間の関係を総合的に捉える力を確認することを意図している。

一般選抜 前期 B

1

絶対値を含む不等式と 2 次不等式の性質を組み合わせて解の範囲を考察し、条件に応じた解の存在や最大値を論理的に判断する力を確認することを意図している。

2

順列・組合せの基本公式や性質を用いた計算および恒等式の理解、さらに重複組合せの考え方を活用して整数解の個数を求める力を確認することを意図している。

3

円と三角形の性質や三角比の係を用いて角度や辺の長さを求め、図形の計量に関する理解と計算力を確認することを意図している。

4

平均値や分散の定義と性質を用いて複数のデータ群を統合した際の代表値や散らばりを求め、データ全体の特徴を適切に把握する力を確認することを意図している。